

〔科目名〕 経営戦略論Ⅰ	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕 専門科目 基幹科目 選択必修
〔担当者〕 上田 弘 Ueda Hiromu	〔オフィス・アワー〕 時間:木曜と金曜の12時20分～12時50分 場所:604研究室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 本授業は、経営学における中心的な分野の一つであり、経営学を理解するうえで重要な科目である。ここでは、経営戦略論の基本的な理論や概念を理解するとともに、具体的な企業の取組みとの関連について検討することを通じて、企業の戦略的行動を分析する能力を養うこととする。 経営戦略は、経営活動の中長期的な基本枠組みと企業の方向性を決定し、企業の競争優位の獲得を目指すもので、企業の存続や財務業績に大きな影響を与える企業経営の基本方針である。 経営戦略を実際に立案し、実行する観点から見た場合、経営戦略はビジョンの策定、自社の事業領域(ドメイン)の選択といった全社を対象とする企業戦略(全社戦略)と各事業でいかに競合他社に対して競争優位を構築するかを対象とする競争戦略(事業戦略)と生産・マーケティング・人事・財務・研究開発といった機能別戦略に大別できる。 経営戦略論Ⅰでは、経営戦略の全体像を捉えるとともに、主に経営環境の変化に対応したマーケティング面、組織面、人的資源面などの機能別戦略を中心に学び、理解を深めることとする。 本授業の進め方として、ビジネス現場における経営戦略とは何か、実際の企業実務事例にも触れながら、社会人になっても実務で活用できる経営戦略論の基礎的な知識及び手法の習得を目指すこととする。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 経営学は身近な学問と言われているが、経営学の内容には、経営戦略、経営組織、機能別戦略としてマーケティング、生産管理、人事労務管理、財務管理などの様々な事業戦略の活動がある。本科目の履修上の注意として、経営戦略理論、企業戦略、競争戦略などの経営戦略論Ⅱと併せて履修することが望ましい。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 経営戦略論Ⅰの授業では、主要な経営戦略論に関する基礎的な理論と概念を身につけ、経営戦略とはどのようなものか、企業は経営戦略をどのように策定し、実行しているかなどについて、現実の経営戦略を分析し、説明できるようになることを到達目標とする。また企業運営における経営管理の位置づけと役割、企業経営における重要な経営戦略、マーケティングなどの項目に対する興味と理解を深め、『企業の未来設計図』の作り方と実際の企業経営の現場で活用されている知識及び手法を付与したい。 本授業を通じて、将来の就職活動、インターンシップの場面のほか、社会人になっても実務で役立つマネジメントの要点を学び、理解することを目標にする。なお、本授業では学習効果を高めるため、3回の連続授業を実施する。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 この科目を担当するにあたって、私がこれまで企業及び役所等において実質経営者、管理者として勤務した実務経験から得た知見、多くの大企業、ベンチャー企業、中小企業等のフィールドワーク及び海外調査で訪ねた企業事例などを通じて、企業現場や経営実務において経営戦略の立案する際に必要な知識と有効な実践的スキルなども付与したい。 本授業を通じて、履修者からの要望、改善・工夫に関して意見やアンケートを参考にして、授業へ極力取り込む工夫も積極的に行っていく。		
〔教科書〕 大滝精一、金井一頼、山田英夫、岩田智著『経営戦略』有斐閣アルマ		
〔指定図書〕 網倉久永、新宅純二郎著『経営戦略入門』日本経済新聞社出版 嶋口充輝、内田和成、黒岩健一郎著『1からの戦略論 第2版』中央経済社 笠原英一『改訂版 強い会社が行っている経営戦略の教科書』KADOKAWA		
〔参考書〕 株式会社日本総合研究所著『経営戦略の基本』日本実業出版社 日沖健著『経営戦略がわかるセオリー&フレームワーク』産業能率大学出版部 Harvard Business Review『戦略の教科書』ダイヤモンド社 坂本雅明著『事業戦略実践ガイドブック』同分館出版 守屋淳著『オリエン特東西の戦略史と現代経営論』日本経済新聞社出版部 田中道昭著『経営戦略4.0図鑑』 鈴木博毅著『3000年の叡智を学べる戦略図鑑』かんき出版 森泰一郎著『アフターコロナの経営戦略』翔永社		

〔前提科目〕 なし	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 評価の方法 1. 春学期開始後、中間時に「課題レポートの提出」を課し、提出されたレポートは最大 50 点評価とする。 2. 学期末に「定期試験」を行い、最大 50 点評価とする(試験では教科書、レジメ、講義ノートのみ持ち込み可。) 上記 2 つの要素で最終評価に反映させる。	
〔評価の基準及びスケール〕 ◎評価の基準 授業で得た知識を基に、現代の企業で実際に行われている経営戦略の考え方、経営戦略の意義の他、戦略を具体化する現場におけるマーケティング力や営業力等に関する考察力や理解力で評価する。 A:80 点以上 B:80 点未満 70 点以上 C:70 点未満 60 点以上 D:60 点未満 50 点以上 F:50 点未満	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 ・受講を希望する者は、必ず 1 回目の授業に出席して欲しい。 ・授業は、出来るだけ分かりやすい授業を行い、一方的に話すだけではなく、教科書及びレジメの輪読、学生の意見を求め、ディスカッションを行うこともある。そのため受講する学生は授業への参加意欲を持って出席して欲しい。 ・PCや iPad、スマホは、ノートをとる必要及び事例企業などを検索する場合などに限り、その使用を認める。	
〔実務経歴〕 経済産業省（旧通産省）、国の独立行政法人、中小企業等での実務経験を活かし、企業経営及びベンチャー企業経営等に必要とされる包括的な知識を身に着けるため、実際の企業事例にも触れながら、企業経営に寄与する基礎的な知識の習得と企業実務の現状への理解を目指すこととする。	
授業スケジュール	
第 1 回 9/10	テーマ(何を学ぶか): イントロダクション、経営戦略の概要(経営戦略とは何か、経営戦略の全体像) 内 容: 経営戦略の考え方の背景、戦略は軍事から生まれた、歴史上の戦略(孫子の兵法、忠臣蔵における戦略、越後屋の戦略、第 2 次世界大戦における米国の戦略)、時代を考える等 教科書・指定図書とレジメ
第 2 回 9/17	テーマ(何を学ぶか): マーケティングの基礎概念 内 容: マーケティングコンセプト(基本概念)、マーケティングコンセプトの変遷、 ソーシャルマーケティング、マーケティングの定義等 教科書・指定図書とレジメ
第 3 回 9/24	テーマ(何を学ぶか): マーケティングマネジメント戦略の展開 内 容: マーケティングマネジメントプロセス、マーケティング環境の分析と目標設定、 ターゲットマーケティング、マーケティングミックス等 教科書・指定図書とレジメ
第 4 回 <u>10/1</u>	テーマ(何を学ぶか): マーケティングリサーチ 内 容: マーケティングリサーチのプロセス、マーケティング情報とデータ、データの収集方法等 教科書・指定図書とレジメ
第 5 回 <u>10/1</u>	テーマ(何を学ぶか): 消費者購買行動と組織購買行動 内 容: 消費者行動分析モデル、購買意思決定プロセスの諸段階、組織購買行動の特徴、 標的市場の決定等 教科書・指定図書とレジメ
第 6 回 10/15	テーマ(何を学ぶか): 製品戦略 内 容: 製品の概要、プロダクトミックス、製品のライフサイクル、ブランド、パッケージング、 新製品開発のプロセス、サービスマーケティング等 教科書・指定図書とレジメ

第7回 <u>10/29</u>	テーマ(何を学ぶか): 価格戦略 内 容: 価格の本質、価格の設定(価格設定における影響要因、新製品の価格設定政策、価格設定の方法、その他の価格政策)、価格の管理(割引、再販売価格維持、リベート等)等 教科書・指定図書とレジメ
第8回 <u>10/29</u>	テーマ(何を学ぶか): チャネル・物流戦略 内 容: チャネル政策、チャネルの設計と類型、垂直的流通システム、流通系列化、チャネルマネジメント、物流戦略等 教科書・指定図書とレジメ
第9回 11/12	テーマ(何を学ぶか): プロモーション戦略 内 容: プロモーションミックス(4つのプロモーション手法、プル戦略とプッシュ戦略)、プロモーション戦略の構築(広告、パブリシティ、人的販売、販売促進、IMC)など 教科書・指定図書とレジメ
第10回 <u>11/19</u>	テーマ(何を学ぶか): 関係性マーケティングとインターネットマーケティング 内 容: 関係性マーケティング(リレーションシップマーケティング)、ダイレクトマーケティング、CRM、データベースマーケティング、インターネットマーケティング(トリプル・メディア)など 教科書・指定図書とレジメ
第11回 <u>11/19</u>	テーマ(何を学ぶか): 戦略営業Ⅰ 内 容: 営業とは、経営の中の営業戦略、営業組織、営業チームのマネジメントなど 教科書・指定図書とレジメ
第12回 11/26	テーマ(何を学ぶか): 戦略営業Ⅱ 内 容: 戦略営業のプロセス(需要の発見と顧客へのアプローチ、顧客の把握、提案、プレゼンテーション・交渉・フォローアップ、戦略営業のための基本動作)など 教科書・指定図書とレジメ
第13回 12/10	テーマ(何を学ぶか): 組織行動 内 容: 組織の概念と均衡条件、組織構造の設計原理、分業システムとしての組織、組織構造の形態、外部環境と組織、組織行動論①モチベーション理論、②集団のダイナミクス、③リーダーシップ論、④組織文化と戦略的な組織変革)など 教科書・指定図書とレジメ
第14回 12/17	テーマ(何を学ぶか): 人的資源管理 内 容: 人的資源管理の全体像、雇用管理、人事評価、報酬制度、能力開発、労働関連法規など 教科書・指定図書とレジメ
第15回 12/24	テーマ(何を学ぶか): 経営戦略事例とまとめ 内 容: 経営戦略事例(アサヒビール、しまむらなど)とまとめ、経営戦略Ⅱの紹介など 教科書・指定図書とレジメ
試 験 <u>12/3</u>	